

研究課題 学校関係者評価委員が評価活動に参画する手だてを試し、その評価結果を学校改善へ生かす取組に係る実践研究

誰もが学校関係者評価委員として参画できる学校評価を目指して

札幌市立石山東小学校

I はじめに

学校改善に資する学校評価の取組

1 本校における学校評価のねらい

本校の屋上には『学校と地域で学び 明日に育つ石山東の子』と書かれた大看板が掲げられている。地域とともに歩む学校を目指すために、学校内の職員のみで行う自己評価だけではなく保護者・児童のアンケートに加え、4年前より学校関係者評価委員会（以下 石山東小学校を語る会）を立ち上げ、委員の方による学校関係者評価を行っていただき、より広い見地からの意見を学校改善に生かしている。

学校評価を子どもの育ちに直結させるために、成果と課題を生かしながら教育内容の見直しを図っており、学力の向上を始めとして日々の教育活動に反映させ、学校全体のレベルアップを目指している。

本校の取組

◎重点項目の設定



2 昨年度の学校評価の結果をもとにした改善点

本校では昨年度の学校評価を受け、今年度の重点目標を『自ら求め 高め合い 確かな力を身に付ける子どもの育成』とし、これを達成するために以下のような重点項目を設定した。

- ◎ 子どもの育ちを中核に据えた教育課程の見直しと編成
- ◎ 学びのスタンダードをあげ、確かな力を育む学習の創造
- ◎ 保護者・地域・ボランティアとの連携の充実

II 本校の学校関係者評価

学校関係者評価のシステムを創る

1 これまでの取組の問題点

学校関係者評価委員の方から、「学校評価でどのような事柄について触ればよいか分からない。」「学校のことをよく分からない。」との声が聞かれた。学校としては「長年地域に暮らし、本校児童を幼いころから見ていただいた方々の率直なお考えをお聞きすることが学校評価につながるようになります。」と説明したが、より評価しやすいシステムづくりの必要性が浮き彫りになってきた。



学校関係者評価委員会
『石山東小学校を語る会』

2 学校関係者評価の円滑な実施に向けた取組

問題点を解決するために、学校側として評価項目を再検討したり、評価するために必要となる資料（学校ガイドブック、学力テスト・新体力テストのデータ等）を作成・準備したりした。

また、子どもの姿を見ていただく場面を増やし、学校関係者評価委員の方々が増えるための基盤づくりを行った。

Ⅲ 学校評価の一年間の流れ

	自己評価			学校関係者評価
	学校（教職員）	児童	保護者・地域	学校関係者評価委員会等
4	○職員会議（学校経営方針） ○学習参観・懇談 ○家庭訪問 ○子どもの育ちを語る会Ⅰ	○今年度の目標設定 ○1年生を迎える会	○PTA総会 ○1年生を迎える会参観	○入学式参加
5	○学校運営検討委員会①（学校評価等） ○運動会	○学力検査 ○運動会がんばりカード		○運動会参加
6	○子どもの育ちを語る会Ⅱ ○学習参観・懇談		○学習参観・懇談	
7	○個人懇談 ○学校運営検討委員会②	○新体力テスト	○個人懇談 ○石山東小ガイドブック配付	○石山東小ガイドブックNo.4配付
8	○前期学校評価		○保護者向け学校評価のアンケート①実施 ○アンケート結果の公表	
9	○子どもの育ちを語る会Ⅲ（学校関係者評価委員アンケートを含めて） ○学習参観・懇談 ○ふれあい活動炊事	○学校生活のアンケート①	○学校説明会 ○学習参観・懇談 ○炊事参観	○石山東小学校を語る会① ○学習参観および子どもや学校に対するアンケート
10	○学習発表会 ○学校運営検討委員会③	○学習発表会がんばりカード	○学習発表会参観	○学習発表会参観
11	○子どもまつり		○子どもまつり参加	○子どもまつり参加 ○給食参加および感想アンケート
12	○子どもの育ちを語る会Ⅳ ○個人懇談 ○学校運営検討委員会④ ○後期学校評価	○学校生活のアンケート②	○保護者向け学校評価のアンケート②実施 ○アンケート結果の公表	○学校の取組へのアンケート
1	○学校評価全体会①②③			
2	○学習参観・懇談 ○次年度計画の立案 ○学校運営検討委員会⑤		○学習参観・懇談	○石山東小学校を語る会②
3	○子どもの育ちを語る会Ⅴ ○学校評価の公表 ○懇談 ○卒業式		○学校説明会 ○懇談 ○卒業式参加 ○学校説明会	○卒業式参加 ※毎月の学校便り配付

IV 学校関係者評価の具体

多様な見方・考え方を学校評価に生かす

1 学校関係者評価を機能させる手だて

(1) 組織体制の工夫

今年度本校では、学校関係者評価委員を10名の方をお願いした。前・現町内会長、学校評議員、主任児童委員、校区にお住まいの学校医、PTA会長、まちづくりセンター長である。『石山東小学校を語る会』にはほぼ全委員が参加してくださるが、どの学校行事にも全ての方が参加することは難しく、各々の委員の方が機会を見付け、子どもたちの姿を見てくださっている。感想やアンケートをその場でいただいたり、『石山東小学校を語る会』の中で出し合ったりした内容をプリントにし、学校職員全体に伝わるように工夫している。

(2) 委員選考に当たっての留意点

町内会長は三つの町内会とも今年度新たに替わった。そこで、これまでの学校運営や学校事情に精通している旧会長に加えて新会長にもお願いしたところである。

そのことで、これまでの流れを踏まえた上で、今の子どもたちや学校の在り方について再検討することが可能となった。また、新委員として民間出身のまちづくりセンター長に加わっていただいたことで、様々な子どもたちの姿を基にした多面的な学校評価を行うことができた。

評価の根拠は子どもの姿から

(3) 学校関係者評価委員への働きかけの具体

① 積極的に評価活動へ参画できるための工夫

生き生きとした子どもの姿を直に見ていただくことが学校評価の第一歩になると考える。数値的なデータや文書による説明はもちろん必要な事柄であるが、学校教育に直接携わったことのない学校関係者評価委員の方が自らの意見を述べるこ



学習参観する学校関係者評価委員

ができるのは、実際に子どもとの直接的な関わりがあってこそそのことである。

そこで、今年度は行事への参加だけでなく、様々な場面で子どもの姿を見ていただいた。通常の学習参観や児童活動の『子どもまつり』、給食にも加わり子どもとの関わりを深くもったことが、積極的に示唆のある評価につながった。

② 来校機会・情報提供の回数

保護者や地域の方々に対して「いつでも参観日」と機会あるごとに啓発しているが、学校関係者評価委員から「参加しづらい。」との声があがった。そこで、こまめに来校依頼の文書を出すことによって、複数名に参加をいただいている。昨年度より来校の機会は増えており、「子どもと話すことは楽しい。」との感想をいただくことができた。

また、毎月の学校便りに加え、作成・配付した『石山東小ガイドブックNo. 4』は、学校運営を始めとして、各学年の学習内容など学校教育全体を理解していただく資料となっており、適宜参考となる情報を提供することが大切であると考えます。

(4) 学校関係者評価の実際

① 評価方法の説明

第1回の『石山東小学校を語る会』で学校経営方針や重点目標に加えて学校関係者評価の方法や評価内容などについて直接担当者が説明し、事前にどのようにして評価するのか予備知識をもった上で1年間の教育活動を見ていただいている。

ゴールを見据えた評価材料の蓄積

② 中間評価の実際

本校は前期・後期の2期制の教育課程を編成しており、保護者や児童による学校の取組に対するアンケートを2回実施している。そこで、学校関係者評価委員の方からいただいた意見を加え、後期の教育活動につなぐための中間評価としてまとめ、遅滞なく実践できるように努めている。

学校関係者評価委員 とともに進める学校 評価

2 学校関係者評価の結果から学校運営の工夫・改善へとつなげる方策

(1) 学校関係者評価の結果から改善の方向を検討

学校関係者評価委員の方からは、子どもや教師の様々な取組を見た上で課題を指摘される。その事柄を改善するために、運営方法や指導方法の工夫等が必要であり、全職員による改善策の検討を適宜行っている。

(2) 次年度の学校運営計画に反映した計画を報告

年度末の『石山東小学校を語る会』では、今年度の成果と課題を踏まえ、次年度の方策を立案し委員に報告する。学校関係者評価が具体的な学校改善につながったことを伝え、充実感や満足感をもっていただけるように努めた。結果として学校関係者評価委員会を通じた学校改善のプロセスの重要性を認識することができた。

V 自己評価及び学校関係者評価結果の公表

1 公表の方法

本校では、評価結果の公表を以下の方法で行っている。

- ・自己評価書の配付と学校説明会の開催（保護者・地域・学校関係者評価委員）
- ・学校ホームページ

2 公表の効果

上記の方法によって学校・保護者・地域の関係が密になり、子どもの育ちや学校の取組について理解を得ることができた。そのことが、学校ぐるみ・地域ぐるみで子どもを育むという意識を高めることにつながったのである。

VI 成果と課題

学校・地域の活力の 基となる学校評価へ

学校関係者評価委員からは、「子どもたちが頑張っているね。」「先生たちもよくやってくれている。」とのお褒めの言葉をいただくことが多い。特に今年度、学校関係者評価委員の方が来校される機会が増え、このような言葉を数多く聞くことができた。そのことが、全職員の意欲を一層高めることにつながっている。

また、学習参観後のアンケートで「子どもが学習に集中していない。」との指摘を受けたときには、早速『子どもの育ちを語る会』で改善策について話し合い、授業改善に役立てている。その結果として「石山東小の子どもたちのスタンダードが上がった。」と言われるなど、大きな成果として捉えることができた。

今後も地域の方々、そして誰もが学校関係者評価委員としての意見を述べることができるように、子どもや学校の情報を発信し続け、地域の中にある学校の意義の重要性を再確認することで、学校・保護者・地域がより一体感をもち続け、石山東小の子どもたちのより確かな力を身に付ける取組が共有できるものと確信している。

【参 考 文 献】

- ・「学校評価の現状とこれからの方向」小松郁夫 初等教育資料 平成24年1月号
- ・「学校評価・情報提供の充実・改善等のための実践研究」集録 札幌市教育委員会

平成23年度 石山東小学校 学校評価 評価項目一覧表

比較的に達成度、満足度の高い評価項目

比較的に達成度、満足度の低い評価項目

項目	自己評価					
	教職員（自己評価）		保護者（アンケート）		児童（アンケート）	
	A十分達成 Bおおむね達成 C改善の方向 D達成していない	達成度	A十分満足 Bおおむね満足 C改善の方向 D満足していない	満足度	A十分満足 Bおおむね満足 C改善の方向 D満足していない	満足度
I 教育課程の見直しを図り、2期4節の充実した編成を行う	① 子どもの育ちが見える知・徳・体の調和のとれた2期4節の特色ある教育課程の編成をすすめる。(学校づくり=学びづくり・心づくり・体づくり=自分づくり)	100%	子どもたちは、学校での学習活動やさまざまな活動を通じて、成長していると思いますか。	100%	6 石山東の子どもたちは、元氣よくあいさつしていると思いますか。	95%
	② 子どもが自ら求め、高め合い、確かな力を身に付けるためにも見直しをもてる学習意欲を促進課題に沿うように構築する。(授業づくり=学びづくり・心づくり・体づくり=自分づくり)	100%			7 石山東の子どもたちは、学校のきまりを守っていると思いますか。	91%
	③ 児童の発達を促しながら、体育学習の充実や体力づくり、食生活、食（生活科）を中心とした、安全・安心な食生活など、健康増進につとめる学習活動の工夫をすすめる。(体づくり・心づくり・学びづくり=自分づくり)	80%			8 石山東の子どもたちは、友達をいじめたり、仲間はずれにしたりしないで、仲良く助け合っていると思いますか。	97%
	④ 特色ある活動の充実を図る。(学びづくり・心づくり・体づくり=自分づくり)	100%			9 石山東の子どもたちは、がまん強く、最後までがんばることができると思いますか。	96%
	⑤ 道徳の時間を充実し道徳的意識を高め道徳的実践力を身に付ける。(心づくり)	80%			10 石山東の子どもたちは、グラウンドや体育館で元氣に遊び、じょうぶな体をつくっていると思いますか。	96%
	⑥ 安全・安心な学校づくりに継続して取り組む。(保護者・PTA・地域の力)	100%			11 あなたが困っているときなど、先生方と相談することができましたか。	77%
	⑦ 教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間を見直し、知・徳・体の調和をより一層図る。	100%				
	⑧ 教科等や特別活動の3内容の活動を特色ある活動と関連付け、子どもが目的意識を明確にもって活動できるようにする。	100%				
II 確かな力をはぐくむ学習を創る	① 学びのスタンダードを検証し、学ぶ意欲を持続させ高めていく。	90%	子どもたちは、自分から進んで学習したり、自分の考えを表現したりする力が育ってきていると思いますか。	98%	1 学校の勉強は、あなたにとってわかりやすいですか。	94%
	② 各学年を貫く学習ルールを確立し、学ぶ意欲が持続できるような問題解決的学習や課題解決的学習、主体的学習を重視し学ぶ意欲を育成する。	80%			2 委員会やクラブは、あなたにとって、楽しく、積極的に参加したいと思う活動が多かったですか。	98%
	③ 全教育活動で言語活動の充実を図る。(表現力・判断力)	90%			3 学校の行事は、あなたにとって楽しいものが多かったですか。	96%
	④ 子どもがよく分かり、楽しい学習づくりのために、授業力(教師力)を高める。	90%			4 ふれあい活動は、楽しく、みんなのためになっていると思いますか。	98%
					5 あなたが勉強のことで困ったときなど、先生方に聞くことができましたか。	72%
III 保護者・地域・ボランティアとの連携を図る	① PTA活動や地域行事に積極的に参加し、信頼と協働による教育を推進する。	100%	学校は、地域やご家庭と連携・協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。	100%		
	② 学校・地域連携事業(東っ子クラブ)の推進に努める。	100%	学校から発信されるお便りなどは、教育活動の様子や情報をわかりやすく正確に伝えていると思いますか。	99%		
	③ 親子学習の推進を図る。(保護者・子ども・担任との協力、連携)	90%				